

公益財団法人 日本卓球協会 2020年度 第1回理事会 報告

【日時】

2020年6月6日(土) 13:00 ~ 16:48

【場所】

東京・Japan Sport Olympic Square 8F・(公財)日本卓球協会事務局 (web会議)

◎決議事項

第1号議案 専務理事提案 (星野専務理事)

①2020年度・2021年度理事の選出について 承認

理事候補者全てを定款第20条第1項により2020年度評議員会に付議する。

- 各ブロックより推薦者各1名(役員等選出規程第2条第2項第1号)
 - 北海道：楢下 博 氏 (新任)
 - 東北：佐藤 重喜 氏 (継続)
 - 関東：小林 博史 氏 (新任)
 - 北信越：小原 秀元 氏 (新任)
 - 東海：蓑島 尚信 氏 (新任)
 - 近畿：吉見 公男 氏 (新任)
 - 中国：松本 秀樹 氏 (再任)
 - 四国：岡村 隆夫 氏 (新任)
 - 九州：加藤 憲二 氏 (継続)
 - 東京：水島 潤子 氏 (継続)
- 東日本地区及び西日本地区学識経験推薦者各1名(役員等選出規程第2条第2項第2号)
 - 東日本地区：八尾 正博 氏 (新任)
 - 西日本地区：野崎 保夫 氏 (新任)
- 加盟競技団体推薦者各1名(役員等選出規程第2条第3項)
 - 高体連：安西 弥一郎 氏 (継続)
 - 日学連：濱田 美穂 氏 (新任)
 - 日本リーグ：佐藤 真二 氏 (継続)
- 理事会推薦学識経験者2名(役員等選出規程第3条第1項)
 - 藤重 貞慶 氏 (継続)
 - 前原 正浩 氏 (継続)
- 会長推薦理事候補者(役員等選出規程第3条第2項)
 - 星野 一朗 氏 (継続)
 - 宮崎 義仁 氏 (継続)
 - 金崎 正久 氏 (継続)
 - 阿久津しげ子 氏 (継続)
 - 吉田 和人 氏 (新任)
 - 岸田 聡子 氏 (新任)

②2020年度～2023年度監事の選出について 承認

監事候補者全てを定款第20条第1項により2020年度評議員会に付議する。

監事候補者各1名(役員等選出規程第4条)

- 東日本地区：土室 完 氏 (新任)
- 西日本地区：松本 秀幸 氏 (新任)
- 関東ブロック：平岡 可奈之 氏 (新任)

③2020年度～2023年度評議員の選出について 承認

評議員候補者全てを定款第11条第1項により評議員会に付議する。

1)各ブロックより推薦者各1名(評議員候補者選出規程第3条第2項)

- 北海道：北里 嘉則 氏 (継続)
- 東北：齋藤 一美 氏 (新任)
- 関東：植松 克之 氏 (新任)
- 北信越：森 敏之 氏 (新任)
- 東海：下田 一十四 氏 (新任)
- 近畿：新田 耕造 氏 (新任)
- 中国：仁井田 勇二 氏 (新任)
- 四国：青木 章泰 氏 (新任)
- 九州：高木 珠江 氏 (新任)

2)加盟競技団体推薦者各1名(評議員候補者選出規程第3条第3項)

※日本知的障害者卓球連盟、日本肢体不自由者卓球協会、日本ろうあ者卓球協会は3団体より1名の推薦

- 日学連：西村 卓二 氏 (新任)
 高体連：塚田 博文 氏 (新任)
 日本リーグ：原田 弘人 氏 (継続)
 知的・肢体・ろうあ：藤川 太郎 氏 (新任)
- 3) 理事会選出学識経験者 5 名(評議員候補者選出規程第 4 条)
 高橋 義雄 氏 (継続)
 勝田 隆 氏 (継続)
 山本 浩 氏 (継続)
 木村 興治 氏 (新任)
 荒木田 裕子 氏 (新任)

④JTТА アクションプランについて 承認

3月の理事会で承認されたミッション・ビジョンにアクションプランの位置づけと概要をまとめたものである。今後加盟団体の皆様としっかりと安定した団体運営や大会確立をしていきたい。

⑤2020 年度全日本卓球選手権大会(ホプス・カブ・バンビの部)開催について

承認
継続審議

7月下旬から8月上旬にオンライン等による臨時理事会を開催し、コミットメントしながら最終決定を行う。

⑥全日本社会人選手権大会の開催可否について 承認

参加者や運営側を含む全ての関係者の安全性を確保することは現状困難であると判断し、全日本社会人卓球選手権大会および全日本卓球選手権大会(マスターズの部)の開催を中止する。

⑦2020 年度本会事業計画の変更について 承認

「新型コロナウイルス感染拡大による加盟団体支援金」を 2020 年度事業計画に追加する。

⑧内閣府へ提出済みの事業計画書の変更申請について 承認

内閣府へ提出済みの 2020 年度事業計画書の変更申請を提出する。

第 2 号議案 財務部提案 (安西常務理事)

①2019 年度決算について 承認

「正味財産増減ベース」の当期経常増減額は、公益目的事業会計▲92,675,353 円、法人会計 95,687,193 円、合計 3,011,840 円を計上した。公益目的事業会計は収支相償を遵守した。

②一次補正予算の追加について 承認

一次補正予算に「新型コロナウイルス感染拡大による加盟団体支援金」を組み込む。

③特定費用準備資金の取り崩しについて 承認

「新型コロナウイルス感染拡大による加盟団体支援金」の財源として、特定費用準備資金「90 周年・100 周年事業準備基金積立」を取り崩す。

第 3 号議案 事業部提案 (金崎常務理事)

①2020 年度全日本卓球選手権大会(団体の部)について 承認

選考方法の提案と大会要項の一部削除を行なう。

- ・選考方法 前年度の全日本卓球選手権大会(団体の部)参加チーム
- ・大会要項 波線部を削除する。
- (11)参加資格 (該当部抜粋)

②2020 年度下記大会の成績から終了後決定、選抜されるが、その大会に出場したメンバーを必ず 2 名以上エントリーすることを条件とする。また、外国籍選手の出場は、1 試合 1 名までとする。なお、選手は段級制規程(注 1 参照)に定められた有段者であること。

推薦内訳 ※ ()内は推薦対象とする大会

- | | |
|--------------------------|------------|
| (ア) 実業団(全日本実業団選手権大会) | 男・女各 4 チーム |
| (イ) 日本リーグ(日本リーグ) | 男・女各 2 チーム |
| (ウ) 日学連(全日本大学総合選手権団体) | 男・女各 2 チーム |
| (エ) 高体連(全国高校選手権大会) | 男・女各 2 チーム |
| (オ) 三重県選抜チーム | 男・女各 1 チーム |
| (カ) J N T (ジュニアナショナルチーム) | 男・女各 1 チーム |

- ⑤申し込み後の監督、コーチ、選手の変更、追加は監督会議終了までに届を提出すること。監督会議後の変更は認めない。但し、②の推薦対象大会に出場した選手が1名になったチームは出場を認めない。

②本年度全国大会推薦出場について 承認

全日本卓球選手権大会（カデットの部）、全日本卓球選手権大会（一般・ジュニアの部）の大会要項にある「無条件参加選手」の2020年度中止大会からの推薦出場は無しとするが、本年度に限り特例として以下の条件変更を行う。

- ・全日本卓球選手権大会（カデットの部）
2019年度大会からの推薦：男女シングルス（14歳・13歳以下）ベスト8→ベスト16
- ・全日本卓球選手権大会（一般・ジュニアの部）
2019年度大会からの推薦：男女一般シングルス ベスト16→ベスト32
男女ジュニアシングルス ベスト8→ベスト16

●監事監査報告（金井監事）

公認会計士より財務諸表等が本協会の年度末財政状態ならびに正味財産増減の状況を適切に表示していることの説明を受け、その内容を確認、適正であることを確認した。大会開催については慎重で的確な判断と、この数年は特に慎重で綿密な協会運営を望む。

第4号議案 総務部提案（松尾常務理事）

①役員等関連規程の改訂について 承認

(3)～(6)は文言の変更、不備の解消、現行運用に沿わせる。

役員等関連規程

- (3)理事の職務権限規程：文言の変更(本会を本協会 など)
- (4)監事監査規程：監事会規則を監事監査規程にまとめ、随時監査の回数を削除する。随時監査は必要な時に行うことが原則であり、監査の回数を規程で定めることは好ましくない。
- (5)役員・評議員の報酬等及び費用規程：役名記載順の変更等。規程名は「評議員、役員の報酬等及び費用規程」とする。
- (6)役員慶弔規程：現行運用に沿わせ、評議員を加える。規程名は「評議員・役員等慶弔規程」とする。

第5号議案 強化部提案（宮崎常務理事） 承認

①強化本部規程の一部改訂について

現行規程の条文の不備、不明確さの修正、改善と近年の大会レベルに合わせた選手選考枠の変更を目的とする。

- ・第27条（NT、JNT及びHNT選手の選出及び手順）
NT、JNTとHNTは対象選手の選出方法に違いがあるため、HNTの選出方法を2項とする新たな項を設けた。
(1)の⑨は、JNT選手の選出基準とし、8位以内を4位以内とする。
(1)の⑩は、JNT選手の選出でもあるためJNT監督を加え、既にNT/JNTに所属している選手も次年度の監督推薦の対象となることを明示する。
- ・第30条（国際大会に自己負担で参加希望する選手の選考）
⑦のインターハイシングルス8位以内の者を4位以内の者とし、⑤ジュニアの部と同等とする。

②国際大会の自費参加基準の特別措置について 承認

2020年及び2021年の2年間、以下の措置を適用する。

この特別措置は、2017年度～2019年度当時の強化本部規程を適用する。

- 対応策：2017年度～2019年度の3年間で、強化本部規程の第30条をクリアしたことのある選手は、条件付きで自費参加を認める。
- ※ジュニア・ユースを対象とした基準クリアであっても、対象の2年間はジュニア種目への出場を条件付きで認める。
 - ※ジュニア年齢以下の選手の自己負担遠征は監督・コーチ・保護者等の帯同者を付ける。
 - ※対象大会は日本卓球協会ホームページで発表する。（認めない大会も発表する）。

種目：強化本部でその都度参加者と調整する。

期間：2020年および2021年の国際大会に適用する。（認めない大会もある）。

③ホープス委員会移管について 承認

ホープスナショナルチームとホープス委員会の強い繋がりを鑑み、ホープス委員会が

所属する普及部から、ホープスナショナルチームが所属する強化部へ移管する。

第6号議案 その他

①2021年度の大会事業計画について（佐藤(重)理事）

2020年度に開催中止となった大会は、主管地はそのまま2021年度へスライドとなるか。全日本卓球選手権大会（団体の部）の取扱はどうなるか。
→本年度中止の大会は2021年度にスライドしない。団体の部は鹿児島国体の開催可否に従う。

②全日本卓球選手権大会（一般・ジュニアの部）開催検討方法について（下田理事）

小委員会を作成し、開催に向けたマニュアル作成をしていただきたい。
→新しいやり方で大会開催をしていくにあたり、小委員会を作り、卓球協会全体としてコンセンサスを作りながら進めていく。

◎報告事項

1. 専務理事報告（星野専務理事）

- ①スポーツガバナンスコードへの対応について
本年の状況に鑑み自己説明・公表の実施スケジュールが10月末までに見直され、特に本年度は2021年3月末日までと延期された。
- ②JTTA 動画サイトの検討について
新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、対象大会が中止となった。引き続き JTTA ウェブサイト内で検討をしていく。
- ③（一社）東京都卓球連盟より2021年度大会への影響の書状について
東京オリンピック・パラリンピックが1年延期となり、以下の大会は実態を調査し、本会で他の道府県への変更を含め新たな手立てを行う。
 - ・全国ホープス大会 2021.8/13～8/15 東京体育館
 - ・ジャパントップ12 2022.2月下旬 東京体育館
 - ・全日本卓球選手権大会（一般・ジュニアの部） 2022.1月 東京体育館
- ④北側氏ご寄付について
顧問の北側様から寄附のお申し出があった。2020年度全国ホープス選抜大会への要請。
- ⑤スポーツ庁委託事業ふるさと支援事業公募について
昨年に引き続き、スポーツ庁委託事業、スポーツ産業の成長促進事業「中央競技団体の経営力強化推進事業」（戦略的普及・マーケティングの実施）へ応募する。
- ⑥常勤役員報酬の一部返上について

2. 国際部報告（前原副会長）

- ①オリンピック・パラリンピック開催延期について
東京オリンピック新日程：2021年7月23日～8月8日
開会式、閉会式、競技日程は7月下旬に組織委員会からプレスリリースされる予定
- ②国際大会関係
ITTF 主催するすべての大会やイベントは、2020年7月末まで中止。
2020年世界卓球選手権釜山大会（団体戦）は6月中旬に ITTFEC が決定し発表する。
2020年世界ベテラン大会は中止。
2020年10月実施予定のワールドカデットチャレンジ（タイ）は中止。
- ③2021年以降の ITTF 主催大会について
国際大会の方式と運営体制を変え、大会名称も新たに、総称を WTT とする予定。
- ④その他

3. 事務局より（事務局長）

- ①2019年度下半期の業務執行報告書について
- ②会賓・参与・加盟団体代表者一覧
- ③事務局報告
 - (1)今後の会議等予定
 - (2)令和2年春の叙勲・褒章・文部科学大臣表彰について
叙勲
瑞宝中綬章 柴田 幸男 氏（日本卓球協会・副会長、宮城県卓球協会・会長）

4. その他

- ①退任役員挨拶

以上